

ふるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



春うらら姉妹卒寿の一夜旅
 西岡町 渋谷みさ子
 友見舞ふ春の空気もたずさえて
 西原町 児玉久美子
 風花は露天の風呂に吸い込まれ
 南桜町 宮腰 幸子
 下校子の挨拶カラッとあたたかし
 仲町 玉野 研一
 釣人去り春待つ湖面白きまま
 元町 杉山 繁良
 ビル谷間転がり落ちし春の月
 元町 竹内スミエ
 逆縁の喪服の肩や別れ雪
 緑町 池田 良子
 映像の中の桜や北住まひ
 旭町 宝澤 房子
 陽光に命めざめる茎立ちぬ
 西町 金澤 頼子

春めきて草木目覚める大地かな
 元町 印牧 安子
 ひとときの霧氷の景や郵便車
 緑町 齋藤 嘉子
 菓子器よりこぼれる香り桜餅
 仲町 坂部 和子
 孫が来て帰る一声風邪ひくな
 元町 西崎 弘子
 雪掃いて掃いて戸締りぴちんとす
 屯田町 古屋 克江
 淡雪の声なき命掌にうける
 仲町 梅基 文子
 あたたかや開きしままの時刻表
 旭町 大河 博子
 餡練りて思ひにはせる入彼岸
 旭町 大河内清枝
 紙雛をひ孫と遊ぶ母の顔
 藤本町 鈴木ゆき子
 御仏の眼差し潤む彼岸かな
 西町 高井 孝子
 離れ住む子を想いつつ雛飾る
 東町 高草木喜代子
 和菓子屋のガラスに透ける春らん
 まん
 西岡町 高瀬久美子
 幼子の忘れし絵本春の暮
 東町 高橋世津子
 流水のサハリンの匂い風のなか
 西町 文梨 清子
 頬なでる風にも春の気配して
 西町 前橋 芳香
 末端の血流促す春野菜
 仲町 芳賀 星子
 ローカルの枯野を走る無人駅
 旭町 大河 茂



『ひなまつりのちらしずし』

作宮野聡子
 (講談社)

ひなまつりのパーティーの日、きみちゃんはお母さんのお手伝いで、ちらしずしを作ることになりました。お母さんは、ちらしずしを作りながら歌を歌い材料のひとつひとつに意味がある事を教えてくれました。ひなまつりに込められた大切な願いが詰まった絵本です。



information 絵本の館から

新着図書

- ・アルパカ牧場日誌
 もっと近くにアルパカと私
 (小澤祐子著)
- ・頭のいい子を育てるおはなし366
 (主婦の友社編)
- ・新選 名著複製全集 近代文学館
 (日本近代文学館編) ほか

今月のおすすめ絵本



『とんでもない』

作・絵鈴木のりたけ
 (アリス館)

男の子は、サイのよろいのような立派な皮がうらやましい、サイはうさぎの身軽さがうらやましい…自分にはないものはよくみえてしまうものですが、本人にとっては悩みの種ということもあります。人をうらやむばかりではなく自分のいいところも見つけてみましょう。